

# 【健やか未来都市ちばプラン】健康目標・中間評価一覧

資料 2-3

No.	分野	項目名		ベースライン	目標	中間値	評価	出典
1	健康寿命の延伸と健康格差の縮小	健康寿命の延伸（日常生活動作が自立している期間の平均の延伸）	男性	78.61年 (H22年)	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加(H34年度)	79.66年 (不健康期間 +0.13年)	×	千葉市要介護認定者数実績（平成27年年央） ※参考：平均寿命 男性(H22年)80.06年→(H27年)81.24年 女性(H22年)86.70年→(H27年)86.77年 ※不健康期間＝平均寿命－健康寿命
			女性	83.36年 (H22年)		83.48年 (不健康期間 -0.05年)	○	
		自分の健康を良いと思っている人の割合の増加		34.7% (H22年)	増加 (H34年度)	36.5%	○	
2-(1)	がん	75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少（人口10万対）		76.8 (H22年)	73.9 (H27年)	72.9	◎	国勢調査（大規模調査）（平成27年 総務省） 千葉市保健統計（平成28年）
		がん検診受診率の向上	胃がん【男性】	46.8% (H22年)	50% (H28年度)	50.5%	◎	国民生活基礎調査（大規模調査）（平成28年厚生労働省）
			胃がん【女性】	39.7% (H22年)		41.7%	○	
			肺がん【男性】	34.3% (H22年)	50% (H28年度)	54.7%	◎	
			肺がん【女性】	31.9% (H22年)		46.6%	○	
			大腸がん【男性】	32.3% (H22年)	50% (H28年度)	47.4%	○	
			大腸がん【女性】	30.9% (H22年)		41.7%	○	
			子宮頸がん	42.0% (H22年)	50% (H28年度)	42.1%	△	
			乳がん	43.6% (H22年)	50% (H28年度)	48.5%	○	
			全体	38.7% (H23年度)	50% (H33年度)	46.4%	○	

No.	分野	項目名	ベースライン	目標	中間値	評価	出典		
2-(2)	循環器疾患	脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少（人口10万対）	男性	42.1 (H22年)	41.6 (H34年度)	35.4	◎	国勢調査（大規模調査）（平成27年 総務省） 千葉県保健統計（平成28年）	
			女性	23.0 (H22年)	減少 (H34年度)	22.4	○		
		虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少（人口10万対）	男性	30.5 (H22年)	減少 (H34年度)	25.4	○	国勢調査（大規模調査）（平成27年 総務省） 千葉県保健統計（平成28年）	
			女性	13.3 (H22年)		9.0	○		
		高血圧の改善（収縮期血圧の平均値の低下）	男性	132mmHg (H22年度)	減少 (H34年度)	131.0mmHg	○	千葉県国民健康保険特定健康診査・後期高齢者健康診査実績（平成27年度）	
			女性	130mmHg (H22年度)	129mmHg (H34年度)	129.5mmHg	○		
		脂質異常症の減少（LDLコレステロール 160mg/dl 以上の人の割合の減少）	男性	8.7% (H22年度)	6.2% (H34年度)	8.8%	△	千葉県国民健康保険特定健康診査・後期高齢者健康診査実績（平成27年度）	
			女性	14.0% (H22年度)	8.8% (H34年度)	14.4%	△		
		メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合の減少			28.0% (H20年度)	21.0% (H27年度)	26.7%	○	千葉県国民健康保険特定健康診査実績（平成27年度）
		特定健康診査の実施率の向上			32.5% (H23年度)	45.0% (H29年度)	36.1%	○	千葉県国民健康保険特定健康診査・特定保健指導実績（平成27年度）
特定保健指導の実施率の向上			14.4% (H23年度)	35.0% (H29年度)	8.4%	×	千葉県国民健康保険特定健康診査・特定保健指導実績（平成27年度）		

No.	分野	項目名	ベースライン	目標	中間値	評価	出典	
2-(3)	糖尿病	合併症（慢性腎不全による年間新規透析導入患者数）の減少	157人 (H23年度)	減少 (H34年度)	156人	○	千葉県国民健康保険特定疾病（慢性腎不全）新規認定者（平成27年度）	
		糖尿病の治療継続者の割合の増加	61.1% (H24年度)	75% (H34年度)	60.4%	△	千葉市の健康づくり（食育・生活習慣等）に関するアンケート調査（平成28年度）	
		血糖コントロール指標におけるコントロール不良者（HbA1cがNGSP値8.4%(JDS値8.0%)以上）の割合の減少	0.93% (H24年度)	減少 (H34年度)	0.80%	○	千葉県国民健康保険特定健康診査実績（平成27年度）	
		成人の糖尿病を有する人の割合の増加の抑制	12.3% (H24年度)	抑制 (H34年度)	13.0%	×	千葉市の健康づくり（食育・生活習慣等）に関するアンケート調査（平成28年度）	
2-(4)	COPD	COPDの認知度の向上 ※重点項目	22.7% (H24年度)	80% (H34年度)	25.6%	△	千葉市の健康づくり（食育・生活習慣等）に関するアンケート調査（平成28年度）	
3-(1)	こころの健康	自殺者の減少（人口10万対）	18.9 (H23年)	減少 (H34年度)	13.7	◎	人口動態統計（平成28年 厚生労働省）	
		気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている人の割合の減少	9.6% (H22年)	9.4% (H34年度)	10.5%	×	国民生活基礎調査（大規模調査）（平成28年 厚生労働省）	
		メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の割合の増加	44.1% (H24年度)	100% (H32年)	52.7%	○	事業所における健康づくりに関するアンケート調査（平成28年度）	
3-(2)-①	次世代の健康 【①思春期】	10代の人工妊娠中絶数の減少	135件 (H23年度)	減少 (H26年)	82件	○	衛生行政報告例(平成27年度 厚生労働省)	
		中学3年女子生徒のやせの割合の減少	3.5% (H23年度)	減少 (H26年)	2.8%	○	小・中学生の健康診断結果（平成28年度）	
3-(2)-②	次世代の健康 【②妊娠・出産・不妊】	妊娠・出産について満足している人の割合の増加	92.5% (H23年度)	100% (H26年)	82.5%	×	4か月児健康診査時におけるアンケート調査（平成28年度）	
		全出生数中の低出生体重児の割合の減少	低出生体重児	9.6% (H23年)	減少 (H26年)	8.9%	○	千葉県保健統計（平成28年）
			極低出生体重児	0.8% (H23年)		0.7%	○	
		妊娠11週以下での妊娠の届け出率の増加	92.2% (H23年度)	100% (H26年)	93.7%	○	妊娠届出提出状況実績（平成28年度）	

No.	分野	項目名	ベースライン	目標	中間値	評価	出典	
3-(2)-③	次世代の健康 【③小児保健医療】	周産期死亡率の減少（出産千対）	4.6 (H23年)	減少 (H26年)	3.3	◎	人口動態統計（平成28年 厚生労働省）	
		乳幼児を家や車に一人だけにする家庭の割合の減少	11.8% (H23年度)	0% (H26年)	8.0%	○	1歳6か月児健康診査時におけるアンケート調査（平成28年度）	
		心肺蘇生法を知っている親の割合の増加 ※重点項目	57.5% (H23年度)	100% (H26年)	66.2%	○	1歳6か月児健康診査時におけるアンケート調査（平成28年度）	
		不慮の事故による死亡率の減少 (人口10万対)	1～4歳	3.0 (H21～H23の平均)	半減 (H26年)	0	◎	千葉市保健統計（平成28年）
			5～9歳	3.0 (H21～H23の平均)		0	◎	
			10～14歳	2.2 (H21～H23の平均)		1	◎	
			15～19歳	11.1 (H21～H23の平均)		2	◎	
		かかりつけ小児科医を持つ親の割合の増加	96.0% (H23年度)	100% (H26年)	98.0%	○	1歳6か月児健康診査時におけるアンケート調査（平成28年度）	
		乳幼児健康診査受診率の向上	4か月児	95.6% (H23年度)	100% (H34年度)	96.7%	○	乳幼児健康診査実績（平成28年度）
			1歳6か月児	92.7% (H23年度)		95.5%	○	
3歳児	90.7% (H23年度)		94.3%	○				

No.	分野	項目名		ベースライン	目標	中間値	評価	出典	
3-(2)-④	次世代の健康 【④育児不安】	育児に言いようのない不安を覚える親の割合の減少	4か月児	16.0% (H23年度)	減少 (H26年)	17.4%	×	4か月児健康診査時におけるアンケート調査 (平成28年度)	
			1歳6か月児	13.6% (H23年度)		12.4%	○	1歳6か月児健康診査時におけるアンケート調査 (平成28年度)	
			3歳児	12.3% (H23年度)		15.6%	×	3歳児健康診査時におけるアンケート調査 (平成28年度)	
		子どもを虐待していると思う親の割合の減少	4か月児	6.1% (H23年度)	0% (H26年)	4.5%	○	4か月児健康診査時におけるアンケート調査 (平成28年度)	
			1歳6か月児	9.0% (H23年度)	5% (H26年)	6.6%	○	1歳6か月児健康診査時におけるアンケート調査 (平成28年度)	
			3歳児	16.5% (H23年度)	10% (H26年)	14.1%	○	3歳児健康診査時におけるアンケート調査 (平成28年度)	
		ゆったりとした気分で過ごせる時間のある母親の割合の増加	4か月児	82.1% (H23年度)	増加 (H26年)	81.6%	×	4か月児健康診査時におけるアンケート調査 (平成28年度)	
			1歳6か月児	74.0% (H23年度)		77.2%	○	1歳6か月児健康診査時におけるアンケート調査 (平成28年度)	
			3歳児	75.2% (H23年度)		69.2%	×	3歳児健康診査時におけるアンケート調査 (平成28年度)	
		育児について相談相手のいない母親の割合の減少	4か月児	0.3% (H23年度)	0% (H26年)	0.8%	×	4か月児健康診査時におけるアンケート調査 (平成28年度)	
			1歳6か月児	0.8% (H23年度)		0.9%	×	1歳6か月児健康診査時におけるアンケート調査 (平成28年度)	
			3歳児	1.1% (H23年度)		1.0%	△	3歳児健康診査時におけるアンケート調査 (平成28年度)	
				出産後1か月の母乳育児の割合の増加	44.1% (H23年度)	60% (H26年)	45.9%	○	新生児・妊産婦訪問指導における母乳哺育の実施状況調査 (平成28年度)

No.	分野	項目名	ベースライン	目標	中間値	評価	出典	
3-(3)	高齢者の健康	介護・支援を必要としない高齢者の割合の増加 ※重点項目	85.0% (H23年度)	88.0% (H33年度)	85.1%	△	千葉市政策評価運用指針 成果指標（平成26年度）	
		ロコモティブシンドローム（運動器症候群）を認知している人の割合の増加	25.2% (H24年度)	80% (H34年度)	44.2%	○	千葉市の健康づくり（食育・生活習慣等）に関するアンケート調査（平成28年度）	
		低栄養傾向（BMI20以下）の高齢者の割合の増加の抑制	17.2% (H23年度)	22% (H34年度)	19.1%	○	千葉市国民健康保険特定健康診査・後期高齢者健康診査実績（平成27年度）	
		足腰に痛みのある高齢者の減少 (人口千対)	男性	219 (H22年)	200 (H34年度)	集計中	—	国民生活基礎調査（大規模調査）（平成28年厚生労働省）
			女性	270 (H22年)	260 (H34年度)	集計中	—	
		この1年間に地域活動やボランティア活動に参加したことがある高齢者の割合の増加	23.8% (H23年度)	40.0% (H33年度)	27.7%	○	千葉市政策評価運用指針 成果指標（平成26年度）	
4-(1)	地域の絆による社会づくり	困ったときは地域で支えあうことができるので安心だと感じる人の割合の増加（地域のつながりの強化）	23.1% (H23年度)	40.0% (H33年度)	26.0%	○	千葉市政策評価運用指針 成果指標（平成26年度）	
		この1年間に地域活動やボランティア活動に参加したことがある人の割合の増加	22.2% (H23年度)	35.0% (H33年度)	23.2%	△	千葉市政策評価運用指針 成果指標（平成26年度）	

No.	分野	項目名	ベースライン	目標	中間値	評価	出典	
5-(1)	栄養・食生活	肥満傾向にある子どもの割合の減少（小学5年生の中等度・高度肥満傾向児の割合の減少）	男子	4.3% (H23年度)	減少 (H26年)	4.4%	△	小・中学生の健康診断結果（平成28年度）
			女子	3.0% (H23年度)		3.2%	△	
		適正体重を維持している人の割合の増加（肥満（BMI25以上）、やせ（BMI18.5未満）の減少）	20～60歳代男性の肥満者の割合 ※重点項目	28.0% (H23年度)	20.0% (H34年度)	27.2%	△	千葉市の健康づくり（食習慣）に関するアンケート調査（平成28年度）
			40～60歳代女性の肥満者の割合 ※重点項目	15.8% (H23年度)	13.0% (H34年度)	18.2%	×	
			20歳代女性のやせの人の割合	24.4% (H23年度)	20% (H34年度)	18.8%	◎	
		主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合の増加		54.6% (H24年度)	80% (H34年度)	57.7%	○	千葉市の健康づくり（食育・生活習慣等）に関するアンケート調査（平成28年度）
		食塩摂取量の減少（1日あたり）		11.1g (H23年度)	8g (H34年度)	11.1g	△	千葉市の健康づくり（食習慣）に関するアンケート調査（平成28年度）
		野菜摂取量の増加（1日あたり）		269g (H23年度)	350g (H34年度)	275g	△	
		果物摂取量100g未満の人の割合の減少（1日あたり）		52.2% (H23年度)	30% (H34年度)	61.2%	×	
		共食の増加（食事を1人で食べる子どもの割合の減少）	朝食 小学5年生	24.3% (H23年度)	減少 (H34年度)	23.1%	○	児童生徒の食生活実態調査（平成26年度）
			朝食 中学2年生	49.0% (H23年度)		49.3%	×	
			夕食 小学5年生	3.3% (H23年度)		3.6%	△	
			夕食 中学2年生	12.1% (H23年度)		10.7%	◎	
		朝・昼・夕の3食を必ず食べることに気をつけて食事をしている子どもの割合の増加		79.2% (H24年度)	100% (H34年度)	78.6%	△	小中学生の食事や健康づくりのためのアンケート調査（平成28年度）
		朝食を欠食する人の割合の減少	20歳代男性	17.4% (H23年度)	15% (H34年度)	14.3%	◎	千葉市の健康づくり（食育・生活習慣等）に関するアンケート調査（平成28年度）
30歳代男性	34.1% (H23年度)		20.0%	○				
20歳代女性	14.6% (H23年度)		減少 (H34年度)	9.4%	○			
30歳代女性	14.4% (H23年度)			11.1%	○			

No.	分野	項目名	ベースライン	目標	中間値	評価	出典	
5-(2)	身体活動・運動	日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施する人の割合の増加（身体活動量の増加） ※重点項目	20～64歳男性	46.0% (H24年度)	増加 (H34年度)	調査中	—	千葉市の健康づくり（食育・生活習慣等）に関するアンケート調査（平成28年度）
			20～64歳女性	45.4% (H24年度)		調査中	—	
			65歳以上男性	62.4% (H24年度)		調査中	—	
			65歳以上女性	48.7% (H24年度)		調査中	—	
		1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施する人の割合の増加（運動習慣者の割合の増加）	20～64歳男性	33.1% (H24年度)	36% (H34年度)	調査中	—	千葉市の健康づくり（食育・生活習慣等）に関するアンケート調査（平成28年度）
			20～64歳女性	28.0% (H24年度)	33% (H34年度)	調査中	—	
			65歳以上男性	55.0% (H24年度)	58% (H34年度)	調査中	—	
			65歳以上女性	45.7% (H24年度)	48% (H34年度)	調査中	—	
		運動やスポーツを習慣的に実施している子どもの割合の増加	男子	61.0% (H24年度)	増加 (H34年度)	—	—	全国体力・運動能力、運動習慣等調査（平成28年度）
			女子	35.4% (H24年度)		—	—	
5-(3)	休養	睡眠による休養を十分にとれていない人の割合の減少	22.0% (H23年度)	15% (H34年度)	25.3%	△	千葉市の健康づくり（食育・生活習慣等）に関するアンケート調査（平成28年度）	
		週労働時間60時間以上の雇用者の割合の減少	11.0% (H23年度)	5.0% (H32年)	11.2%	△	千葉市統計書（平成28年）	
5-(4)	飲酒	生活習慣病のリスクを高める量（1日あたりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上）を飲酒している人の割合の減少	男性	20.1% (H23年度)	13% (H34年度)	15.5%	○	千葉市の健康づくり（食習慣）に関するアンケート調査（平成28年度）
			女性	11.6% (H23年度)	6.4% (H34年度)	7.0%	○	
		未成年者の飲酒をなくす	中学2年生男子	17.5% (H23年度)	0% (H34年度)	10.9%	○	たばこと酒類等に関するアンケート調査（平成28年度）
			中学2年生女子	17.5% (H23年度)		9.1%	○	
			高校2年生男子	26.3% (H23年度)		14.2%	○	
			高校2年生女子	28.9% (H23年度)		18.3%	○	
妊娠中の飲酒をなくす	4.1% (H23年度)	0% (H26年)	0.0%	◎	母親&父親学級時におけるアンケート調査（平成28年度）			



No.	分野	項目名	ベースライン	目標	中間値	評価	出典	
5-(5)	喫煙	成人の喫煙率の減少	16.2% (H23年度)	12% (H34年度)	13.7%	○	千葉市の健康づくり（食育・生活習慣等）に関するアンケート調査（平成28年度）	
		未成年者の喫煙をなくす	中学2年生男子	1.7% (H23年度)	0% (H34年度)	3.6%	×	たばこと酒類等に関するアンケート調査（平成28年度）
			中学2年生女子	2.9% (H23年度)		1.6%	○	
			高校2年生男子	3.5% (H23年度)		1.7%	○	
			高校2年生女子	2.8% (H23年度)		2.0%	○	
		妊娠中の喫煙をなくす	4.9% (H23年度)	0% (H26年)	2.0%	○	母親&父親学級時におけるアンケート調査（平成28年度）	
		受動喫煙の機会を有する人の割合の減少 ※職場については、受動喫煙防止対策（全面禁煙または空間分煙）を講じていない職場の割合の減少	行政機関	2.6% (H24年度)	0% (H34年度)	2.8%	△	千葉市の健康づくり（食育・生活習慣等）に関するアンケート調査（平成28年度）
			医療機関	1.8% (H24年度)	0% (H34年度)	2.3%	×	
			職場	32.2% (H24年度)	0% (H32年)	29.0%	△	事業所における健康づくりに関するアンケート調査（平成28年度）
			家庭	10.8% (H24年度)	3% (H34年度)	7.2%	○	千葉市の健康づくり（食育・生活習慣等）に関するアンケート調査（平成28年度）
			飲食店	34.5% (H24年度)	15% (H34年度)	37.1%	×	

No.	分野	項目名	ベースライン	目標	中間値	評価	出典
5-(6)	歯・口腔の健康	3歳児でう蝕がない子どもの割合の増加	77.1% (H23年度)	80%以上 (H34年度)	83.6%	◎	3歳児歯科健康診査実績（平成28年度）
		12歳児の1人平均う歯数の減少	1.19本 (H23年度)	1.00本以下 (H34年度)	0.67本	◎	小・中学生の健康診断結果（平成28年度）
		60歳代における咀嚼良好者の割合の増加	71.5% (H24年度)	80% (H34年度)	77.5%	○	千葉市の健康づくり（生活習慣）に関するアンケート調査（平成28年度）
		70歳で22歯以上の自分の歯を有する人の割合の増加	75.7% (H23年度)	増加 (H34年度)	78.4%	○	歯周疾患検診実績（平成28年度）
		60歳で24歯以上の自分の歯を有する人の割合の増加	84.4% (H23年度)		87.3%	○	
		20歳代における歯肉に炎症所見を有する人の割合の減少	28.9% (H24年度)	25% (H34年度)	35.8%	×	千葉市の健康づくり（食育・生活習慣等）に関するアンケート調査（平成28年度）
		40歳代における進行した歯周炎を有する人の割合の減少	39.4% (H23年度)	25% (H34年度)	47.7%	×	歯周疾患検診実績（平成28年度）
		60歳代における進行した歯周炎を有する人の割合の減少	49.2% (H23年度)	45% (H34年度)	57.4%	×	
		過去1年間に歯科検診を受診した人の割合の増加	54.9% (H24年度)	65% (H34年度)	56.9%	○	千葉市の健康づくり（食育・生活習慣等）に関するアンケート調査（平成28年度）